

令和3年度第1回鶴見岳・伽藍岳火山防災協議会幹事会（議事要旨）

1. 日時

令和3年7月2日（金）14:00～15:13

2. 場所

別府ビーコンプラザ2階レセプションホール

3. 出席者

別添名簿のとおり

4. 議事

- (1) 鶴見岳・伽藍岳火山避難計画（案）について
- (2) 報告事項等
 - ・火山防災対策推進事業について
 - ・今後の検討予定について

5. 議事要旨

- 事務局（県防災対策企画課）から、鶴見岳・伽藍岳火山避難計画（居住地域）の作成経緯、事務局（案）の概要について説明した。

素案では、開設避難所候補となる避難所の想定収容人数について、新型コロナウイルス感染症を考慮し算定したことから避難対象者全員を避難所で受け入れることができないため、さらに避難者を受け入れることができるよう、開設避難所候補について、再検討することとしたい。

<各委員等よりいただいた意見は下記のとおり>

- ・噴火警戒レベル4以上に相当するような溶岩が流れ出る噴火は約7,300年以上発生してはいるが、6万8,000人に影響を及ぼすおそれがある火山は例がなく、鶴見岳・伽藍岳の避難について、その深刻さが伝わるような形で前文を作成してほしい。
- ・噴火警戒レベル4や5が発表された時に、避難対象区域の境界で、境界の外は逃げなくていい、避難対象区域内は逃げるというのを分けることが本当に可能かということイメージしてほしい。
- ・避難対象区域の境界の外ではあるが境界近くに位置する別府市役所が、噴火警戒レベル4、5の時にどのように対応をされるのか、噴火警戒レベル3の段階でも市役所の機能を安全な場所に移設することを含め対応を検討してほしい。
- ・自動車で避難できない避難者を想定し、避難経由地（一時集結地）を設定し避難先を振り分けることとしている。また、避難の長期化に備えて保健活動チームの派遣を行い、公衆衛生ニーズを把握するとしている。これらの点について、業務内容や体制を検討してほしい。
- ・海が使える別府の特徴をいかして、海域利用、船舶等の活用などについて記載してほしい。

- 事務局から、令和2年度火山防災対策推進事業と今後の予定について説明した。

<各委員等よりいただいた意見は下記のとおり>

- ・火山防災情報等提供用看板設置支援事業に関連して、登山者や地域の住民から火山情報を提供してもらえるような仕組みを検討してほしい。

以上